

歴史 京成の京は東京の京、成は成田の成

- 1909(明治42) 京成電気軌道株式会社が生。
- 1912(大正元年) 押上~江戸川間、高砂~柴又間が開通。京成電車が走りはじめました。
- 1916(大正5) 船橋まで線路がのびる。
- 1921(大正10) 船橋~千葉間が開通。
- 1930(昭和5) 東京~成田間が開通。成田山へのおまいりや東京への行き来がべんりになりました。
- 1933(昭和8) 日暮里~上野が開通。京成全線が開通しました。
- 1945(昭和20) 京成電鉄株式会社に名前がへんこう。
- 1960(昭和35) 押上~浅草間が開通。都営浅草線と京成線がつながりました。レールの幅をそろえるために幅を広げる工事がされました。
- 1968(昭和43) 空港線が開通。
- 1991(平成3) 空港ターミナルへ金失道で初めて乗り入れ。
- 2009(平成21) 100周年。青電、赤電、ファイアオレンジが走りました。
- 2010(平成22) 成田スカイアクセス線開業。同時にAE100形のシティーライナー(前スカイライナーの停車駅に青石氏を追加)を運行開始。

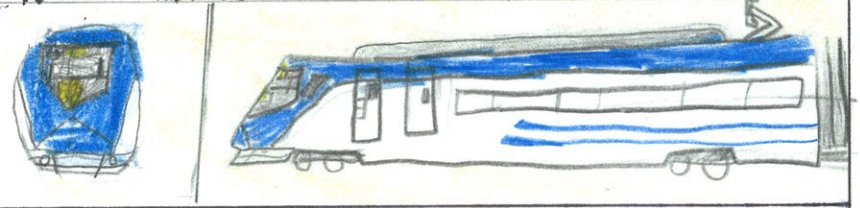
初めてがたくさんある電車

- ①日本で初めて土地下鉄と相互乗り入れた電車
- ②山手線内に初めて乗り入れた電車
- ③特急「開運号」は日本で初めてTVがついた電車
- ④特急「開運号」は私鉄で初めてリクライニングシートがついた車両
- ⑤成田国際空港に乗り入れた最初の電車



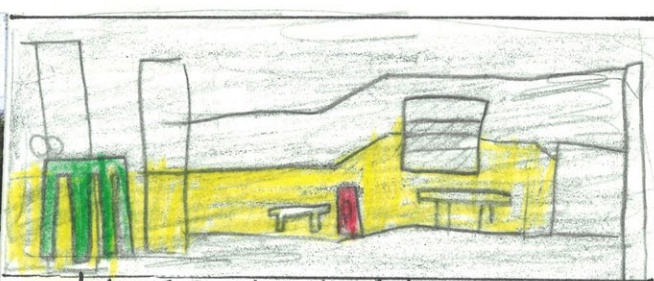
新型スカイライナー登場するまで

7/17に成田スカイアクセスが開業しました。山本からさいたまの新型スカイライナーAE形は北走区急行はくたかと同じ時速160kmで空港線を走ります。ブルーと白の車体がカッコいいです。愛知県豊橋市の日本車輿で作られた後、JRのきかん車(京葉線)海金失道千葉物ターミナル馬場まで引はこぎてもらい、そこからトラックで宗吾参道の車両まで運び、京成のレールの幅の台車にとりつけられました。



トンネルの中のさびしそうな馬

日暮里をすぎて、トンネルに入るとしばらくすると、うすぐらい無人の駅を通ります。調べてみるとはく物館動物園駅といって1997(平成9年)まで営業していたそうです。上野公園を歩いてみると土也上の出入口が残っていました。国会ぎ専堂のようなデザインでした。



地下のはく物館動物園駅

寛永寺坂駅という駅が1947(昭和22)まであったそうですが出入口にあたるには会社のそうこがたっていました。そうこ入口の道路のせり上がり立つと電車が通かするからという音としん動が伝わってきました。

いしんの矢じるしの戸介を電車が走っています。



寛永寺坂駅があったところ

時々臨時列車が走ります。

今年の8/7に佐倉城下町400周年記念市民花火大会が開かれました。この時、白井~八千代台までの間で8両へん成のりん時列車が運行されました。2本運転されどちとも3700形の電車でした。大みそかや正月など利用する人が多い時は列車がごうびんされます。

朝の行商専用列車

上野行き行商専用車両を連結した列車が平日に運行されています。ほくが利用している白井馬場には8:14に止まります。6両の一番うしろの車両が行商に出かける人たちの専用車両になります。荷物が重いので2階のかいさつを通らずに道路各わきのフェンスの専用入口からホームに上がれるようになっています。

